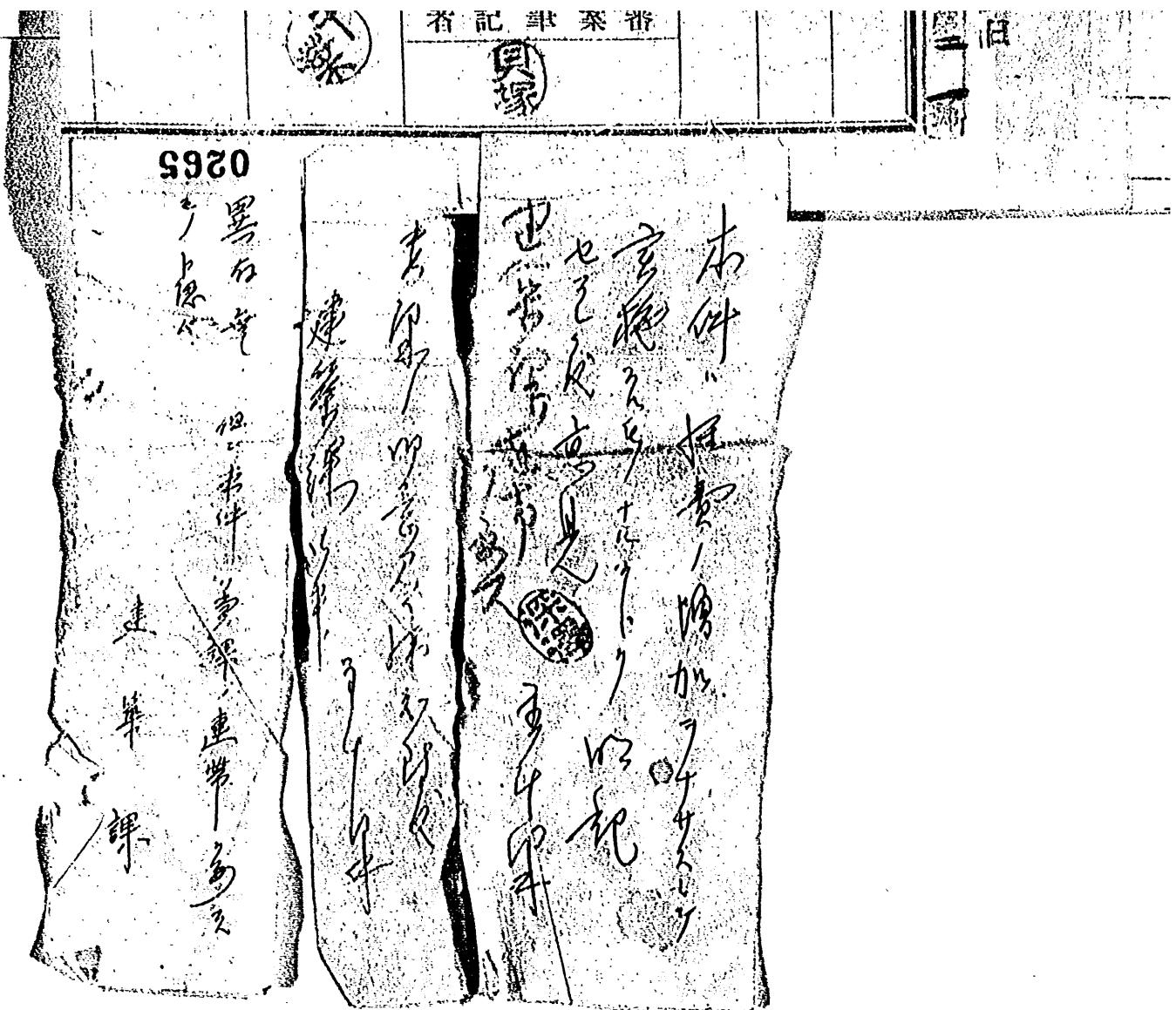


房官大臣	課局務主	次裁認證號番	決裁指定	件受番號	連帶名	參照印
了結	出提領受	號番	大正	大正	大正	
大正	大正十九年三月七日	九	一月十六日	大正十九年三月七日	大正十九年三月七日	
年	月	日	日	年	月	
回覽	後回	帶	連	次官	高級	決行後回
長	周	局	局長	參事官	副官	覽課名
長	課	課	主務	高級	主務	主計
長	課	課	課長	副官	副官	上計
			主務	主務	官房	
			主務	副員	副員	
			審案筆記者			
			貢			



# 決 裁 索

大正十三年四月一日以テ 航空学校下志津分校  
及明野分校ハ之ヲ獨立セシメ 所澤航空學校  
校務専掌・其事務實業分置制・改ムラ  
レ度但ニ之カ為経費ヲ増加セサルモノトス

## 理 由

一、航空學校ハ亟次若ノ教育科目及人員ノ增加  
後ニ又位置ノ關係上空中偵察、觀測、無  
線電信等ノ教育ハ下志津・空中射擊教  
育ハ明野、於テ實施レ次テ之ヲ分校ニ改

三月一日

メタルモ 分校諸様(案) 整備せん 今日ニ於テハ  
 之ヲ 獨立セシムハモ 何等 支障シ生ズルコリナク 寧  
 口 現在ノ實情ハ 舶室部署が 校門ノ 諸系統  
 葉務ハ 惣チ 手澤本校ヲ 陸由スル為 却テ 稽  
 雜ト 並近トラ 来タシ 不便 故カラサル 情況ニ在ル  
 ウソテ 両分校ハ 原ニ之ヲ 獨立セシムラ 無ス  
 二、 舶室分校教導中隊ハ 築設當時よりシテ  
 得セル 事務上 併シ 他、 落第 諸學校教導  
 隊ト異リ 共ノ考課ハ 微廉制ナルモ 斯クテハ  
 教導隊設置ノ目的ヲ 章タル不適當ル  
 ヲソテ 之ヲ 乃置 制改ヒルラ 無ス

極秘

部航祕密第 六 號

陸軍航空學校編制制度一部改正件上申

大正拾參年壹月拾七日

陸軍航空部本部長安滿欽

陸軍大臣宇垣一成殿

部長印

首題、件ニ關シ左記、通大正十三年四月一日ヨリ改正相成様致度別紙理由書相添及上申候也

左記

一、陸軍航空學校下志津及明野兩分校ヲ各獨立セシメ、陸軍航空部本部長、直轄トス

臣

臣

0268

6920

二、陸軍航空學校教導中隊兵卒ノ徵集制度ヲ廢  
シノ遣制度トス

臣

旨

陸軍航空學校編制制度一部改正ニ關スル理由書

一陸軍航空學校、下志津及明野兩分校ヲ現制、如ク陸軍  
航空學校ノ一部トシテ陸軍航空學校長ノ統一指揮下ニ  
存置セシムルハ、見學校職員、器材、經費等ニ就テ互ニ  
融通ヲ便ニシ又學校教育、齊一進歩ヲ圖ルカ爲甚タ  
有利ナルカ如キモ現在陸軍航空學校ノ編制、施設ハ  
頗ル狹小貪弱ナルカ爲本校ト分校トヲ問ハス何レモ  
其職員、器材、施設ニ於テ不備不足ヲ訴ヘ  
其校自ラノ教育ノニニスラ吸々トシテ日モ足ラス而モ  
尚統空界ノ要求ニ對シ満足ナル教育、研究ヲ爲スコ  
ト能ハサル情況ナルヲ以テ相互、援助器材、融通等

ノ如キニ至リテハ恰モ百年河清ラ待ツニ等ニ又兩分校  
 一所在地ハ彼此甚タシク遠隔シアルヲ以テ本校長  
 指揮監督ニ不便ナルニミナラス尤來本校ハ操縦術  
 下志津分校ハ主トシテ偵察術明野分校ハ主トシテ  
 射擊術、教育研究ニ從事シツタルラ以テ其本務  
 上是等三校ヲ強ヒテ一校長、指揮ニ屬シ互ニ密接  
 ナル連繫ノ下ニ統ヘセラレサルヘカラサル何等ノ理由ヲ  
 見ス反ソテヤアルカ爲兩分校下部トノ通信連絡ラ  
 複雜滋糲セシムルモノ勘カラス况ニヤ我航空恩ニ  
 對スル兩分校ノ任務ハ益々重大ニ其教育研究其ノ  
 他普及スヘキ事項ハ日ヲ追フテ益々多岐多端ヲ加ヘ

來ルラ以テ宜シク速カニ兩分校ヲ獨立セシメニラ航空  
 部本部長ノ直轄トシ其編制施設ヲ擴張シ内密ノ充  
 實ヲ圖ラサルヘカラス然レトモ國家財政上今直ニ其編  
 制施設ニ手ヲ觸ルルコト能ハサルニ於テハ少クモ先ツ  
 速カニ變則ナル隸屬關係ヲ改メ以テ改進ノ第一歩  
 ラ踏マシメ置クニト必要ナリ

二、航空學校教導中隊兵卒、徵集制ハ其創設時代ニ  
 於テハ事情止ヘラ得サル所アリシナランモ現時ノ如キ  
 我航空界ニ對シ僅ニ一中隊ニ過キサル教導中隊  
 カ現制ノ如クンヘ其兵卒教育ニミ恠殺セラレ何  
 等教導中隊トシテノ價値ナシ従テ速カニセラ

0273

分遣制改ムスルヲ要ス

四

五